

## 複音唱歌

### 千里の道

ちさとの道も、あしもとよりぞ、はじまれる、葉末の露も、つもれば淵と、なるぞかし

雲ゐる山も、ちりひぢよりぞ、なれりける、ふみよむみちも、ことわりのみは、ひとつなり、

### 閨の板戸

閨のいた戸の、あけゆくそらに、朝日のかげの、さしそめぬれば、ねぐらをいづる、百八十鳥は、霞のうちに、ともよびかはし、夢見る蝶も、とくおきいでて、むれつゝはなに、まひあそぶなり、あさいねする身の、そのおこたりを、いさむるさまなる、春のあけぼの。

### 洋琴及箏曲

#### 独弾曲 一曲

#### 二人連弾曲 二曲

### 箏曲 六段

### 管絃樂 三曲

#### コーラルナイトソング

#### チャーミングヴァレー

#### マーチ

右唱歌音楽ノ効益及該科開設ノ方法教授ノ順序等ハ素ヨリ其一端ヲ示スニ過ギズト雖下モ幸ニ諸氏ノ同感ヲ得テ自今唱歌ヲ學校ニ導クノ端緒ヲ開クニ至ラバ豈惟本掛ノ幸榮ノミナランヤ。實ニ我邦教育上ノ一大幸ト云フベキナリ

〔手書き、長野県上伊那郷土館蔵〕

## 六 音楽取調掛における調査および研究

音楽取調掛設置に際して、伊澤修二が文部卿に提出した「取調見込書」には「東西二洋ノ音楽ヲ折衷シテ新曲ヲ作ル事」「將來國樂ヲ興スベキ人物ヲ養成スル事」「諸學校ニ音楽ヲ實施スル事」の三項目が目標としてかけられた。左の報告書はその中の第一項に関する調査・研究の実績を記したものである（『音監經伺書類上下、音楽取調掛成績申報書』明治十七年）。

### (一) 「諸種ノ樂曲取調ノ事」

諸種ノ樂曲中特ニ取調ヲ要スルモノハ本邦ノ部ニ在テ雅樂俗樂トシ外國ノ部ニ在テ西洋樂清樂トス

俗樂ニ於テハ箏曲、長唄、等ヲ始メ其他各種ニ及ビ西洋樂ニ於テハ古樂今代樂等皆其取調ヲ要スルモノトス

音律ノ事タル固ヨリ人ノ性情ノ自然ニ出ツルモノナレバ古今ヲ問ハズ東西ヲ論ゼズ殆ト同一ニ歸スベシト雖モ其旋法ニ至リテハ各相異ナル所アリ随テ得失アルヲ免レザルモノナレバ博ク諸樂ノ根理ヲ研究シ其得失ヲ考査シ其良否ヲ審覈シ以テ彼長ヲ取り此短ヲ補フノ用ニ供セザル可ラズ是レ第一ニ諸種ノ樂曲取調ヲ要スル所以ナリ

樂曲取調ノ方法ハ從來口傳ニ出デ樂譜ナキモノハ之ヲ精究審解シテ其樂譜ヲ作り若シ其譜アルモ各種異様ノ方法ヲ用キタルモノハ之ヲ各國普通ノ樂譜ニ改メ精確明瞭ニ其曲調ヲ記スル事ヲ務ムベシ

斯ノ如ク諸種ノ樂曲ヲ同一ノ基本ニ歸シ普通ノ樂譜ニヨリテ之ヲ